

二
〇
一
四
年
午^{うま}



常陸大宮市長
三次真一郎

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、旧年中は、市政全般にわたり温かいご支援ご協力を賜わり、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、5年ぶりに西塩子の回り舞台が開催され、多くの来場者でにぎわいを見せたほか、震災で被災した文化センターの災害復旧工事完了や新消防庁舎の完成など、まちづくりの基盤となる各種施設の整備が進んだ年でもありました。

さて、今年は市制施行・合併10周年の年を迎えます。記念式典をはじめ各種記念行事を予定しています。その一環として、市民の方が愛着を持てるように、「市の歌」を制定し、市民が心をつにし、明日への活力と郷土愛を育み、市の将来像である「豊かな自然と調和した安心・快適な活力のまち」の実現に向けて各種施策に取り組んでまいります。

また、新たな地域振興の拠点として、国道118号沿線へ「道の駅」を整備し、新たな雇用の場の創出や交流人口の増加による地域の活性化を図るとともに、温泉保養施設や観光施設、農産物加工・直販施設の整備など、既存の資源を磨いてさらに光らせ、地域の活性化を推し進めてまいります。

さらに、「新たな時代を生き抜く郷育立市」の推進にも力を注いでまいります。生まれ故郷である常陸大宮市の誇れるものや、かけがえのないもの、郷土の歴史・地理・文化・伝統・偉人・生活習慣など、これらについて学び、そして語り、一人ひとりが故郷で輝くとともに、遠くにいても故郷を愛し、慈しむことのできる心を醸成し、ひいては、生まれた故郷を輝かせ、将来を背負って立つ人材の育成を推進してまいります。そして「住んでよかった」「合併してよかった」と思えるふるさとづくり、市民一人ひとりが「もっと元気に」を合言葉に生活できるふるさとづくりにまい進する決意であります。

皆様には、本市のまちづくりに対し、今後ともご理解とご協力いただきますようお願い申し上げますとともに、本年が幸多き一年でありますことを心からお祈り申し上げごあいさついたします。

謹賀新年

うまどし
2014年は午年

馬は、人間と意思の通う動物として、昔から親しまれてきました。

しかし、最近は、その姿を見かけることが少なくなりました。日本で飼われている馬のうち、そのほとんどは乗馬用で、農耕馬などは少数派とのこと。あまり見かけなくなったのはそのせいかもしれません。

馬を家畜として飼い始めたのは、牛よりも遅く、紀元前4千年頃とされています。古墳時代の遺跡からは馬の埴輪も出土し、万葉集にも、馬を詠んだ歌が多数あります。

また、初詣や合格祈願に奉納する絵馬は、もとは神社や寺に馬を奉納する代わりに、馬の絵を書いたのが始まりとされています。午年の今年は、さらにたくさんの絵馬が神社に奉納されたことでしょう。



常陸大宮市議会議員
岡崎 栄一

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、希望に満ちた新年をお迎えることとお慶び申し上げますとともに、日頃から、議会活動に対し温かいご支援を賜り心から厚くお礼申し上げます。

議長就任2年目になりますが、より身近な議会、開かれた議会の実現を念頭に置き、常陸大宮市のさらなる発展のために、引き続き努力してまいりたいと決意を新たにしております。

さて、近年は地方分権の進展に伴い、議会の役割はますます重要になっており、常陸大宮市におきましても、少子高齢化への対応、産業の振興、中山間地域や中心市街地の活性化、地球温暖化防止に向けた環境対策、道の駅整備など、多くの課題を抱えております。この中でも、「道の駅」の整備については、議会といたしましても、調査・検討を重ね各議員が活発な意見を交わすことにより、一定の方向を見出すことができました。

また、本年は、市制施行・合併10周年という節目の年を迎えます。本市のさらなる発展への契機として、また、次代に希望と誇りが持てる「まちづくり」に、さらに取り組みを加速させてまいりたいと思います。

市議会は二元代表制の下で、市長、その他の執行機関との立場や権能の違いを踏まえ、常に緊張ある関係を持しながら、市民の皆様の福祉の向上及び市政の発展に寄与していかなければなりません。

昨年9月、『議会基本条例』の制定においては、議員の基本的な活動内容や責任などを条例に定め、その資質向上を図り、議員間で論議を深めながら、積極的に政策提言・施策立案ができる議会を目指すものとしております。

そして、その実践をとおして、市民の福祉の向上と常陸大宮市の発展のため、さらなる議会活性化に取り組んでまいり所存でございますので、今後とも、市民の皆様にはご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、常陸大宮市の限らない繁栄と、本年が市民の皆様にとって幸多く、飛躍の年となりますことを心よりご祈念申し上げまして新年のご挨拶といたします。